

カリキュラム名	カリキュラムの内容とねらい	到達目標	講師	項目	時間
Ⅲ 地域密着型サービスの指定基準について	(1)介護保険法の制度改正等について (2)地域密着型サービスについての理解 ①地域密着型サービスの位置付け、創設経緯について ②地域密着型サービスの指定基準・運営基準等について ③運営推進会議等の役割について	○地域密着型サービスの基本的考え方、運営する上で守らなければならない基本的ルールが理解できる。	行政	講義	30
Ⅳ 認知症高齢者ケアのあり方	(1)認知症高齢者のケアのあり方Ⅰ 権利擁護やリスクマネジメントの基本的知識	○認知症高齢者のケアに係る基本的知識(権利擁護やリスクマネジメント等)について理解できる。	弁護士等	講義	150 (70)
	(2)認知症高齢者のケアのあり方Ⅱ(80分) ①認知症の方にとって望ましい生活を考える。 ・「望ましい生活」を実現するための自事業所の担うべき役割を理解する。 ・「望ましい生活」を実現するためのスタッフの担うべき役割を理解する。 ②「認知症ケア」の基本である自立支援の考え方を理解する。 ③自事業所以外の資源の存在と連携の方法について考える。	○事業を行う上で、認知症ケアの目指している方向性が確認できる。 ○認知症の方にとっての「望ましい生活」は特別なものではないことが理解できる。 ○スタッフのかかわり方について基本的な考え方が理解できる。 ○自事業所における認知症ケアに関わっているのは、自事業所のスタッフだけではないことが理解できる。 ○自事業所周辺にも生かせる社会資源がたくさんあることに気付くことができる。	認知症介護指導者	講義	(80)
Ⅴ 家族の理解・高齢者との関係の理解	(1)認知症介護から生じる家庭内の様々な問題や課題と家族への支援の必要性について学ぶ。 (2)事業所内でのケアだけではなく、家族・地域との連携の必要性について理解する。	○本人だけではなく、家族等周辺の方々へのサポートも必要であることが理解できる。 ○自事業所における認知症ケアに関わっているのは、自事業所のスタッフだけではないことが理解できる。	家族の会等	講義	50
Ⅵ 現場体験	現場体験(事業所・施設見学、現場体験(利用者の視点から)、意見交換) ①講義によって得られた知識・情報を実感する。 ②サービスを受ける側の視点から、スタッフのケアの意味を理解する。	○認知症の方と交流することにより、認知症についての理解を深める。 ○利用者の視点から、実習施設のケアの目指すものを感じることができる。 ○自施設スタッフのケアを理解し、支援する視点を持つ。	実習施設	実習	420
				講義	340
				実習	420